

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部	
	17008	空家等対策事業	課名	建築住宅課 住まい推進G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:住環境の向上		款	08:土木費
	施策の方向	03:空き家の対策・利活用		項	05:住宅費
戦略プロジェクト	-	目		01:住宅管理費	
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	空家等対策の推進に関する特別措置法、亀山市空家等対策の推進に関する条例		

② 目的・概要	対象	空き家所有者及び取得者
	目的	管理不全状態の空家等や特定空家等など、周辺環境に悪影響を及ぼす空家等への対策を講じることで、住環境の維持・向上を図る。また、空き家の活用を促進し、定住促進と地域の活性化を図る。
概要	空家等対策協議会において管理不全状態の空家等や特定空家等の適否や措置方針を協議し、適切な措置を講じる。また、空き家対策の基礎となる空き家データベースの管理・更新を行うとともに、空き家の活用を促進するため、空き家情報バンク制度を通じた移住者と空き家所有者のマッチングや空家等の改修に要する経費への助成を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・適正管理に関する助言、指導等 ・緊急安全措置等の実施 ・空き家データベースの更新 ○空き家の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンク制度 ・空き家リノベーション支援(県・市) ・空き家リフォーム支援(市) ○空家等対策協議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・適正管理に関する助言、指導等 ・緊急安全措置等の実施 ・特定空家除却支援 ○空き家の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援 ○空家等対策協議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・適正管理に関する助言、指導等 ・緊急安全措置等の実施 ○空き家の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援 ○空家等対策協議会の開催 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等の適正管理に関する助言・指導(3件) 民間データによる市内空家情報の把握 ○活用促進補助制度の検討 ○空き家情報バンク制度の充実 ・制度運用、HP管理(一部修正) 登録21件、成約3件 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等の解体による解消(3件) ○特定空家候補の調査検討 ○空き家情報バンク制度の充実 ・HP管理(一部修正) 登録5件、成約9件 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定空家等の解体による解消(0件) ○特定空家候補の調査検討 ○空き家情報バンク制度の充実 ・HP管理(一部修正) 登録10件、成約7件 	
事業の計画・実績	計画額	事業費	6,100千円	8,500千円	3,900千円
		国庫支出金		3,500千円	1,250千円
		県支出金	1,000千円		
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	6,100千円	7,150千円	2,300千円
		国庫支出金		2,625千円	750千円
		県支出金	1,000千円	187千円	250千円
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	1,122千円	6,513千円	1,384千円
		国庫支出金		2,710千円	422千円
県支出金		0千円	187千円	175千円	
地方債					
その他					
人件費	総人件費 ②	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	一般職員	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	所要人員	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(①+②)	3,477千円	8,865千円	3,755千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称	行政指導に対する改善率	計画値	100	100
			改善済み件数／指導件数	実績値	60	100
				単位	%	%
	②	名称	空き家情報バンクへの新規登録件数	計画値	10	10
				実績値	21	5
				単位	件	件
	③	名称	空き家のリフォーム件数	計画値	5	5
			補助制度を活用した空き家のリフォーム件数	実績値	1	4
				単位	件	件

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 現在、管理不全状態の空き家等13件が未解決の状況にあり、新たな特定空家等の指定等について調査検討する必要があること、またこれらの管理不全状態の空家等の解消に努める必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 新たな特定空家等の指定を行った。また、管理不全状態の空き家等の所有者等に対して、空家の現状、近隣からの声、地元保全管理業者の紹介などを記載した文書を送付するなどし、解消に向けた取組を進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 管理不全状態の空き家4件については解決し、また新たな特定空家等の指定に関する調査検討を進めた結果、特定空家1件を指定した。 空き家情報バンク制度については、関係部署と調整連携し、固定資産税等納税通知書に、空き家活用のPRチラシを同封し、制度や相談窓口の周知を行った。ホームページにおいても、随時更新を行うとともに、一部修正を行った。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 管理不全状態の空き家は13件のうち4件が解決し、特定空家等は9件のうち8件が改善された。 固定資産税等納税通知書に同封したPRチラシにより、市外に居住の空き家所有者から空き家情報バンク制度等について問い合わせを受けた。 空き家リフォーム支援事業として3件に助成を行い、空き家の活用を促進した。 空家情報バンクの充実により、成約件数の増加につなげることができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 現在、管理不全状態の空き家等9件、新たな特定空家等1件が未解決のため、引き続き、解決に努める必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 管理不全状態の空き家、特定空家の解消に向けた効果的な取り組みを模索しながら進めていく。また、特定空家等1件は、伝統的建造物であるため、文化財部局と調整を図りながら解決を図っていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市内で問題となっている空家等の解消につながる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	建設部 建築住宅課 住まい推進グループリーダー 村山 理
【最終評価者】	建設部 建築住宅課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	A	A	B
	成果	B	B	A	A	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,300 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	2,300 千円
	令和4年度への繰越額	千円